

大須崎灯台

1949 年に建設された大須崎灯台は、雄勝半島の小さな町、大須の漁港を見晴らしています。高さは 12 メートルと控えめですが、この灯台は多くの嵐に耐えて立ち続けており、2011 年の東日本大震災では被害を免れました。

漁師たちにとっても地元の人々にとっても希望の象徴である大須崎灯台は、2018 年、宮城県で初めて「恋する灯台プロジェクト」の灯台に認定されました。このプロジェクトは、日本財団や日本ロマンチスト協会などの団体が日本全国の灯台のロマンスを保存し促進するために共同実施する構想です。大須崎灯台は静かな庭園に囲まれており、眼下のフォトジェニックなハート型のマリーナがこの場所を特にロマンチックなスポットにしています。天気の良いときは、神聖な島である金華山など、周囲の海に点在する島々の景色を見ることができます。